

実施報告書

HT25168

びわこの水環境を守るにはどうしたら良いの?～ 水の流れときれいさを調べて、マップをつくってみよう! ～



開催日：平成24年8月3日(土)

実施機関：立命館大学
(実施場所) (びわこ・くさつキャンパス)

実施代表者：佐藤圭輔
(所属・職名) (理工学部・講師)

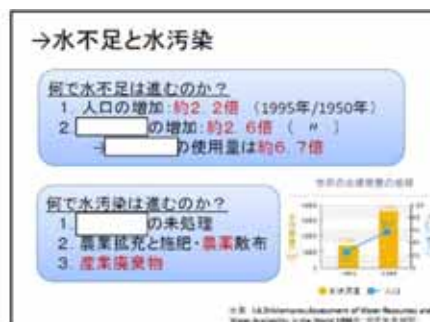
受講生：中学生:8名
高校生:1名

関連URL：<http://www.ritsumei.jp/pickup/detail/j/topics/12071/date/8/year/2013>

【実施内容】

留意、工夫した点

午前中の講義では、実際に身近にあるものを水の指標に置き換えて判りやすい説明にした。参加者への配布資料にはブランクを設定し、聞いている間に記入していけるように工夫した。また、実施代表者(佐藤)の講義では、常に参加者への問いかけを意識し、双方向授業となるように心がけ、昼食は大学の食堂に参加者・講師・事務員・アシスタント学生全員で行き、食事を取りながらの会話や学内施設のツアーなども行って、コミュニケーションを深めるよう努力した。



午後からの実習では、学内の池と学内の噴水に行き、その池水の採水を参加者全員が体験した。採水とその実験においては、参加者と実施者の共同作業をすることにより交流を深めた。実験室での測定では、全員が測定器を実際に触り、実際に作業を行って、出てきた結果を色や数字で定量値を判断出来るよう工夫した。



当日のスケジュール

学内の池でのサンプル採取に時間がかかったため少々スケジュールが遅れた。

0900 受付開始(9名参加)

0930 開講式 あいさつ、自己紹介、スタッフ紹介、科研費説明

1000 講義(1) 身近な水がどんな状況にあるか

1100 休憩

1110 講義(2) 水を取り巻く世界の状況

1210 休憩・昼食

1315 学内の池や噴水での水の採取(各種環境測定機の実践)

1500 休憩・クッキータイム

1530 参加者が持参したサンプルと学内で採取したサンプルにつき手分けして分析実験を行った。

併せて、結果に対する説明を行った。

1700 修了式(未来博士号授与式)

1730 終了・解散

実施の様子

午前中の講義では、内容的に分かりやすい部分のみの説明としたが、全体を十分に理解できたかどうかという点では、やや不十分であったように思われる。50分授業に慣れている参加者にとっては、休憩を取る間隔が少々長かったかもしれない。しかし、具体的に身近な例を取り上げて説明を行ったため、特に水利用の実態については興味を持ってディスカッションが出来た。

午後の現地訪問、採水、実験実習の方では、午前中よりもさらに興味をもって、驚くほどに一生懸命に作業を行っていたのが印象的である。少数の参加者にて実験を行ったため、作業には全員が加わり、役割分担や情報共有、講師やアシスタントによるサポートが有効に機能した。実験を最後まで終わられなかった点が少々残念であり、参加者ももう少しやりたいという発言をしていたので、簡易キットを持ち帰ってもらって実験をしてみるよう指導した。

事務局との協力体制

教員、実施協力者(学生)、事務局が協力して役割分担や実施計画を作成した。広報チラシの作成、参加者への通知、当日の受付・ドリンクなど手配、経費管理などを事務局で行ったため、教員や実施協力者が授業や実験実習の準備・実施に集中して取り組むことが出来た。

広報活動

なるべく不効率な広報を避けるよう工夫した取り組みを行った。具体的には近郊(滋賀県と京都市宇治市)の中学校を中心にチラシを送付し、高校へは本学のひらときイベントを総合的に紹介するパンフレットを送付した。系列校に対しては教員や事務局が直接紹介に行った。

大学のホームページでも本イベントの紹介と申し込み受付を行った。

安全体制

長靴の用意、サンプル採取時、実験時における安全な場所の確保、十分な水分補給の喚起につとめた。参加者9人に対してスタッフ5人体制できめ細かいフォローを行った。

今後の発展性、課題

参加者はバーチャルウォーターの話など、社会人でもめったに聞くことの出来ない話題と実験実習について特に興味を示した。

アンケートでも「フィールドワーク(サンプル採取、野外での測定機の実使用)」

「持参したサンプルについての各種評価実験」がとても面白かった、との結果であった。

反省点としては、郵送に頼る広報の他に効果的な方法の検討が必要である。また、サンプル採取などに手間取ってしまったため、全体的にスケジュールが遅れたことも今後の課題とされた。

【実施分担者】

中島 淳

理工学部・教授

橋本 征二

理工学部・教授

【実施協力者】 4 名

【事務担当者】

羽藤 規友 リサーチオフィス(BKC) 課長補佐